

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公開番号】特開2015-132102(P2015-132102A)

【公開日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2014-3982(P2014-3982)

【国際特許分類】

E 03 D 5/00 (2006.01)

E 03 D 9/00 (2006.01)

【F I】

E 03 D 5/00

E 03 D 9/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月14日(2016.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

排せつ物を受けるボウル部と、該ボウル部の下方と連通して前記ボウル部内に溜水面を形成する排水トラップ部と、前記溜水面より下方で開口し前記ボウル部に洗浄水を噴出する噴出部とを設けた大便器本体と、

前記噴出部に洗浄水を供給する洗浄水供給手段と、

前記大便器本体の前記ボウル部に酸性水を噴霧する酸性水噴霧ノズルと、

該酸性水噴霧ノズルに供給する前記酸性水を生成する電解槽とを備えるトイレ装置において、

前記電解槽で前記酸性水に付随して生成されるアルカリ水を排出するアルカリ水排出路が、前記洗浄水供給手段より下流側に位置する継手で合流していることを特徴とするトイレ装置。

【請求項2】

前記継手が、前記アルカリ水排出路への逆流を阻止する逆止弁を有していることを特徴とする請求項1記載のトイレ装置。

【請求項3】

前記逆止弁が、フラッパー弁から構成されていることを特徴とする請求項2記載のトイレ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本請求項1に係る発明は、排せつ物を受けるボウル部と、該ボウル部の下方と連通して前記ボウル部内に溜水面を形成する排水トラップ部と、前記溜水面より下方で開口し前記ボウル部に洗浄水を噴出する噴出部とを設けた大便器本体と、前記噴出部に洗浄水を供給する洗浄水供給手段と、前記大便器本体の前記ボウル部に酸性水を噴霧する酸性水噴霧ノ

ズルと、該酸性水噴霧ノズルに供給する前記酸性水を生成する電解槽とを備えるトイレ装置において、前記電解槽で前記酸性水に付随して生成されるアルカリ水を排出するアルカリ水排出路が、前記洗浄水供給手段より下流側に位置する継手で合流していることにより、前述した課題を解決するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本請求項2に係る発明は、請求項1記載の構成に加えて、前記継手が、前記アルカリ水排出路への逆流を阻止する逆止弁を有することにより、前述した課題をさらに解決するものである。